




**System Center Configuration Manager および
System Center Virtual Machine Manager 用
Dell EMC OpenManage Integration for
Microsoft System Center バージョン 7.2
インストールガイド**

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2009 ~ 2019 Dell Inc. またはその関連会社。。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 OMIMSSC の概要	5
2 OMIMSSC コンポーネント	6
3 OMIMSSC のインストールまたは管理のワークフロー	7
SCCM への OMIMSSC インストールの計画.....	7
SCVMM への OMIMSSC インストールの計画.....	7
OMIMSSC のアップグレード計画.....	8
ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスへの移行.....	8
4 OMIMSSC のシステム要件	9
アカウント権限.....	9
OMIMSSC の一般的なシステム要件.....	9
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件.....	10
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件.....	10
ネットワーク要件.....	10
5 OMIMSSC のインストールおよび設定	12
ウェブからの OMIMSSC のダウンロード.....	12
OMIMSSC アプライアンスのセットアップ.....	12
複数の Microsoft コンソールの登録.....	13
OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータル の起動.....	13
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール.....	13
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール.....	14
OMIMSSC での Microsoft コンソールの登録.....	14
登録済み Microsoft コンソールからの OMIMSSC の起動.....	15
ブラウザでの OMIMSSC FQDN アドレスの追加.....	15
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動.....	15
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動.....	15
6 OMIMSSC のライセンス	16
ライセンスのアップロード後のオプション.....	16
強制.....	17
OMIMSSC へのライセンスのインポート.....	17
ライセンスの詳細情報の表示.....	17
7 OMIMSSC とそのコンポーネントの管理	19
OMIMSSC アプライアンスの詳細情報の表示.....	19
OMIMSSC ユーザー管理の表示.....	19
登録済みコンソールの表示または更新.....	19
OMIMSSC アプライアンスのパスワードの変更.....	19
インストールツールの修復または変更.....	19
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の修復.....	19
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張の修復.....	20

OMIMSSC 管理ポータルでの SCCM および SCVMM アカウントの変更.....	20
OMIMSSC アプライアンスのバックアップ.....	20
OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成.....	20
OMIMSSC アプライアンスの復元.....	20
OMIMSSC アプライアンスの復元.....	21
OMIMSSC のアップグレード.....	21
Service Pack のアップデートについて.....	21
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード.....	23
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード.....	24
OMIMSSC アプライアンスの再起動.....	24
OMIMSSC アプライアンスからのログアウト.....	24
OMIMSSC のアンインストール.....	24
OMIMSSC からの Microsoft コンソールの登録解除.....	25
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール.....	25
SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール.....	25
その他のアンインストール手順.....	25
アプライアンス VM の削除.....	26
8 Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス.....	27
デルへのお問い合わせ.....	27

OMIMSSC の概要

Microsoft System Center 向け OpenManage Integration (OMIMSSC) とは、製品の System Center スイートへのアプライアンスベースの統合です。OMIMSSC は、integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) with Lifecycle Controller (LC) を使用して、Dell EMC PowerEdge サーバーの完全なライフサイクル管理が行えるようになります。

OMIMSSC では、オペレーティングシステムの導入、Storage Spaces Direct クラスターの作成、ハードウェアのパッチ、ファームウェアアップデート、サーバーとモジュラーシステムのメンテナンスが行えます。従来のデータセンターで OMIMSSC を Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) と統合して Dell PowerEdge サーバーを管理したり、仮想およびクラウド環境で OMIMSSC を Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) と統合して Dell PowerEdge サーバーを管理したりできます。

SCCM および SCVMM の詳細については、Microsoft のマニュアルを参照してください。

OMIMSSC コンポーネント

このマニュアルで使用されている OMIMSSC コンポーネントとその名前を以下にリストします。

表 1. OMIMSSC のコンポーネント

コンポーネント	説明
Microsoft System Center 向け OpenManage Integration アプライアンス仮想マシン (OMIMSSC アプライアンス)	Hyper-V 上で OMIMSSC アプライアンスを CentOS に基づく仮想マシンとしてホストし、次のタスクを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> Web Services Management (WSMAN) コマンドを使用して、iDRAC 経由で Dell EMC サーバと通信する。 REST API コマンドを使用して、OpenManage Enterprise Module (OME モジュール型) 経由で Dell EMC PowerEdge MX7000 デバイスと通信する。 OMIMSSC 管理ポータル経由で OMIMSSC アプライアンスを管理できるようにする。
Microsoft System Center 向け OpenManage Integration コンソール (OMIMSSC コンソール)	SCCM コンソールと SCVMM コンソールで、次のように同じコンソール拡張機能が使用されます。 <ul style="list-style-type: none"> SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能 SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能

管理システムとは、OMIMSSC とそのコンポーネントがインストールされているシステムです。

管理対象システムとは、OMIMSSC によって管理されているサーバです。

OMIMSSC のインストールまたは管理のワークフロー

以下の説明に従えば、要件に応じて、SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能と SCVMM 用 OMIMSSC 拡張機能のどちらか一方のインストール、既存 OMIMSSC のアップグレード、OMIMSSC の移行の中からタスクを選択して実行することができます。

トピック：

- ・ [SCCM への OMIMSSC インストールの計画](#)
- ・ [SCVMM への OMIMSSC インストールの計画](#)
- ・ [OMIMSSC のアップグレード計画](#)
- ・ [ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスへの移行](#)

SCCM への OMIMSSC インストールの計画

OMIMSSC を SCCM にインストールするには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC を SCCM コンソールにインストールするためのシステム要件を満たしていることを確認します。詳細については、「[OMIMSSC のソフトウェア前提条件および要件](#)」を参照してください。
2. サポートサイトからファイルをダウンロードします。詳細については、「[サポートサイトからのダウンロード](#)」を参照してください。
3. OMIMSSC アプライアンス VM を作成して設定します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンス VM の作成および設定](#)」を参照してください。
4. OMIMSSC 管理ポータルを起動し、SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をダウンロードしてインストールします。詳細については、「[SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール](#)」を参照してください。
5. 詳細を入力して、SCCM コンソールを OMIMSSC に登録します。詳細については、「[Microsoft コンソールの登録](#)」を参照してください。
6. SCCM コンソールから OMIMSSC を起動します。詳細については、「[SCCM コンソールからの OMIMSSC の起動](#)」を参照してください。

SCVMM への OMIMSSC インストールの計画

OMIMSSC を SCVMM にインストールするには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC を SCVMM コンソールにインストールするためのシステム要件を満たしていることを確認します。詳細については、「[OMIMSSC のソフトウェア前提条件および要件](#)」を参照してください。
2. サポートサイトからファイルをダウンロードします。詳細については、「[サポートサイトからのダウンロード](#)」を参照してください。
3. OMIMSSC アプライアンス VM を作成して設定します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンス VM の作成および設定](#)」を参照してください。
4. OMIMSSC 管理ポータルを起動し、SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をダウンロードしてインストールします。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のダウンロードおよびインストール](#)」を参照してください。
5. 詳細を入力して、SCVMM コンソールを OMIMSSC に登録します。詳細については、「[Microsoft コンソールの登録](#)」を参照してください。
6. SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインポートします。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインポート](#)」を参照してください。
7. SCVMM で OMIMSSC コンソール拡張機能を起動します。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動](#)」を参照してください。

OMIMSSC のアップグレード計画

OMIMSSC をアップグレードするには、次の手順を実行します。

① **メモ:** SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能と SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード手順は同じです。

1. 古い OMIMSSC アプライアンスのバックアップをとります。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成](#)」を参照してください。
2. SCVMM で、既存の **OMIMSSC コンソール拡張機能** を削除します。
3. SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能または SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をアップグレードします。
SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレードに関する詳細については、「[SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能](#)」を参照してください。SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレードに関する詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード](#)」を参照してください。
4. 古い OMIMSSC アプライアンスを、新しい OMIMSSC アプライアンスに復元します。詳細については、「[アプライアンスの復元](#)」を参照してください。
5. SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を SCVMM コンソールにインポートします。
6. シャットダウンしてから、古い OMIMSSC アプライアンスを削除します。

① **メモ:** 復元後、古い OMIMSSC アプライアンスから **Microsoft** コンソールの登録を解除しないでください。解除すると、**Microsoft** コンソールで作成された **OMIMSSC** プロファイルが削除されます。

ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスへの移行

ある OMIMSSC アプライアンスから別の OMIMSSC アプライアンスに移行するには、次の手順を実行します。

1. 既存の OMIMSSC アプライアンスデータをバックアップします。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成](#)」を参照してください。
2. バックアップした OMIMSSC アプライアンスを、新しい OMIMSSC アプライアンスに復元します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスの復元](#)」を参照してください。
3. シャットダウンしてから、古い OMIMSSC アプライアンスを削除します。

① **メモ:** 復元後、古い OMIMSSC アプライアンスから **Microsoft** コンソールの登録を解除しないでください。解除すると、**Microsoft** コンソールで作成された **OMIMSSC** プロファイルが削除されます。

OMIMSSC のシステム要件

トピック：

- ・ アカウント権限
- ・ OMIMSSC の一般的なシステム要件
- ・ SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件
- ・ SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件
- ・ ネットワーク要件

アカウント権限

OMIMSSC を使用するために必要なすべてのアカウント権限は、次のとおりです。

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアカウント権限とは、ユーザーが SCCM の次のグループのメンバーであることです。

表 2. 必要な権限のあるユーザーアカウント

ユーザー	権限 / 役割
登録時	<ul style="list-style-type: none"> ・ OMIMSSC への SCCM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCCM の管理者またはフル管理者である必要があります。 ・ OMIMSSC への SCVMM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCVMM の管理者役割のメンバーである必要があります。 ・ ドメイン ユーザー。 ・ システム センター マシンのローカル管理者グループのメンバー。
コンソール拡張機能へのログイン時	<ul style="list-style-type: none"> ・ OMIMSSC への SCCM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCCM の管理者またはフル管理者である必要があります。 ・ OMIMSSC への SCVMM コンソールの登録に使用するアカウントは、SCVMM の委任管理者または管理者である必要があります。 ・ ドメイン ユーザー。 ・ システム センター マシンのローカル管理者グループのメンバー。

OMIMSSC の一般的なシステム要件

OMIMSSC をインストールする前に、リストにある 3 つの OMIMSSC コンポーネントに基づき、次のソフトウェア前提条件をインストールしてください。

- ・ OMIMSSC アプライアンス：
 - ・ Windows Server をインストールして、Hyper-V 役割を有効にする。
 - ・ OMIMSSC がマルチコンソール登録をサポートするようになったため、任意の数の SCCM または SCVMM コンソールを 1 台の OMIMSSC アプライアンスに登録できるようになりました。登録コンソール数に応じたハードウェア要件は次のとおりです。

表 3. ハードウェア要件

コンポーネント	SCCM または SCVMM コンソール 1 台の場合	SCCM または SCVMM コンソール N 台の場合
RAM	8 GB	8 GB x N
プロセッサ数	4	4 x N

次の Windows オペレーティングシステムのいずれかをインストール：

- ・ Windows Server 2019
- ・ Windows Server 2016
- ・ Windows Server 2012 R2
- ・ Windows Server 2012

・ OMIMSSC 管理ポータル：

次のいずれかのサポート対象ブラウザをインストール：

- ・ Internet Explorer 10 以降
- ・ Mozilla Firefox 30 以降
- ・ Google Chrome 23 以降
- ・ Microsoft Edge

次の特定の OMIMSSC システム要件を満たすには、使用するコンソールに応じて次のリンクの説明にある要件に従ってください。

- ・ [SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件](#)
- ・ [SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件](#)

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインストールするには、次の手順を実行します。

- ・ 同じバージョンの SCCM 管理コンソールと SCCM サイトサーバをインストールしてください。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のシステム要件

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインストールするには、次の手順を実行します。

- ・ 同じバージョンの SCVMM 管理コンソールと SCVMM サーバをインストールします。
- ・ SCVMM サーバのフェイルオーバークラスタリング機能を有効にします。
- ・ 登録済みユーザーには、SCVMM サーバでの管理者権限が必要です。
- ・ 登録済みユーザーには、管理下クラスターでの管理者権限が必要です。

ネットワーク要件

OMIMSSC アプライアンスが使用するポート：

さまざまな OMIMSSC コンポーネントが次のリストのポートを使用します。これらのポートはファイアウォールの例外リストにも入っています。

表 4. ポート情報

使用状況	プロトコル	ポート番号
iDRAC 通信	WSMan	—
モジュラーシステム	REST	—
自動検出	HTTPS	—

使用状況	プロトコル	ポート番号
iDRAC — これらのポートは、インストールツールまたはユーザーによって作成されたCIFS共有にiDRACがアクセスできるように有効化されています。	HTTPS	135 から 139、および 445

OMIMSSC のインストールおよび設定

トピック：

- ・ ウェブからの OMIMSSC のダウンロード
- ・ OMIMSSC アプライアンスのセットアップ
- ・ 複数の Microsoft コンソールの登録
- ・ OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータル の起動
- ・ OMIMSSC での Microsoft コンソールの登録
- ・ 登録済み Microsoft コンソールからの OMIMSSC の起動

ウェブからの OMIMSSC のダウンロード

OMIMSSC を <https://www.dell.com/support> からダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. すべてのプロダクトのブラウズソフトウェアエンタープライズシステム管理 **Microsoft** システム用 **OpenManage Integration** の順にクリックします。
2. 必要なバージョンの OMIMSSC を選択します。
3. **ドライバおよびダウンロード** タブをクリックします。
4. OMIMSSC VHD ファイルをダウンロードします。
5. VHD ファイルを抽出し、**OMIMSSC アプライアンスをセットアップ**します。

OMIMSSC アプライアンスのセットアップ

OMIMSSC アプライアンスをセットアップする Hyper-V が、次の要件を満たしていることを確認してください。

- ・ 仮想スイッチ が設定済みであり、使用可能である。
- ・ 登録する Microsoft コンソール数に応じたメモリが、OMIMSSC アプライアンス VM に割り当てられている。詳細については、「[一般的な要件](#)」を参照してください。

OMIMSSC アプライアンスをセットアップするには、次の手順を実行します。

1. 次の手順に従って、OMIMSSC アプライアンス VM をインストールします。
 - a) **Windows** サーバの **Hyper-V** マネージャの **アクション** メニューで、**新規** を選択して **Virtual Machine Manager** を選択します。
仮想マシンの新規作成ウィザードが表示されます。
 - b) **開始する前に** で **次へ** をクリックします。
 - c) **名前と場所の指定** では、仮想マシンの名前を入力します。
仮想マシンを別の場所に格納する場合は、**別の場所に仮想マシンを格納** を選択し、**ブラウズ** をクリックして、新しい場所をスキャンします。
 - d) **世代の指定** で、**第 1 世代** を選択してから、**次へ** をクリックします。
 - e) **メモリの割り当て** で、前提条件で示されるメモリ容量を割り当てます。
 - f) **ネットワークの設定** の **接続** で、使用するネットワークを選択して、**次へ** をクリックします。
 - g) [**仮想ハードディスクを接続**] で [**既存の仮想ハードディスクを使用**] を選択し、**OMIMSSC_v7.2.0_for_VMM_and_ConfigMgr** VHD ファイルがある場所に移動して、そのファイルを選択します。
 - h) **概要** で指定した詳細を確認し、**完了** をクリックします。
 - i) **仮想プロセッサの数** の値を 4 に設定します。デフォルトでは、プロセッサの数が 1 に設定されています。
プロセッサ数を設定するには次のようにします。
 1. OMIMSSC アプライアンスを右クリックして、**設定** を選択します。
 2. **設定** で **プロセッサ** を選択し、**仮想プロセッサの数** を 4 に設定します。
2. OMIMSSC アプライアンス VM を起動して、次のタスクを実行します。
3. OMIMSSC アプライアンスが起動したら、次のタスクを実行します。

メモ: すべてのサービスが開始されるように、5分間待ってから **Admin** としてログインすることを推奨します。

- localhost** ログイン に admin と入力します。
- 新しい**管理者パスワード**を入力 にパスワードを入力します。
- 新しい**管理者パスワードを確認**してください にパスワードを再入力し、**Enter** を押して続行します。
- リストされたオプションで、**ネットワークの設定** を選択して **Enter** キーを押し、次のサブステップを実行します。

- ・ **NetworkManagerTUI** で、システムホスト名の**設定** を選択し、OMIMSSC アプライアンス名を入力して、**OK** をクリックします。

たとえば、Hostname.domain.com などとします。

メモ: ネットワークの設定 オプションを選択して、**OMIMSSC** アプライアンスの IP アドレスを変更します。これ以降、**OMIMSSC** アプライアンスの IP アドレスあるいはホスト名を変更することはできません。

- ・ 固定 IP アドレスを指定する場合は、**接続の編集**、**Ethernet0** の順に選択します。

IPv4 設定 で **手動** を選択して、**表示** をクリックします。IP 設定アドレス、ゲートウェイアドレス、DNS サーバ IP を指定して、**OK** をクリックします。

- OMIMSSC アプライアンスの OMIMSSC 管理ポータル URL をメモしておいてください。

メモ: OMIMSSC アプライアンスの IP と FQDN を DNS の 前方参照ゾーン および 逆引き参照ゾーン に追加します。

複数の Microsoft コンソールの登録

OMIMSSC に複数の Microsoft コンソールが登録されている場合は、OMIMSSC アプライアンスのリソースを管理します。

OMIMSSC アプライアンスに登録する Microsoft コンソール数に応じて、ハードウェア要件を満たしていることを確認してください。詳細については、「[OMIMSSC の一般的なシステム要件](#)」を参照してください。

複数の Microsoft コンソールのリソースを設定するには、次の手順を実行します。

- OMIMSSC アプライアンスを起動してログインします。
- 登録パラメーターの設定** に移動し、**Enter** キーをクリックします。
- OMIMSSC アプライアンスに登録するコンソール数を入力します。
必要なリソースの一覧が表示されます。

OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータルの起動

- ブラウザを起動し、OMIMSSC アプライアンスへのログインに使用したのと同じ資格情報で OMIMSSC 管理ポータルにログインします。

フォーマット : `https://<IP アドレス>`

メモ: OMIMSSC 管理ポータルの URL を ローカルイントラネットサイトに追加します。詳細については、「[ブラウザでの OMIMSSC IP アドレスの追加](#)」を参照してください。

- ダウンロード、インストールツールのダウンロード の順にクリックして、必要なコンソール拡張機能をダウンロードします。

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール

- ・ SCCM 管理コンソールを使用する前に、SCCM サイトサーバに OMIMSSC をインストールするようにしてください。
- ・ SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール、アップグレード、アンインストールを行う前に、Configuration Manager を閉じておくことを推奨します。

- OMIMSSC_SCCM_Console_Extension.exe をダブルクリックします。
ようこそ 画面が表示されます。
- 次へ** をクリックします。
- ライセンス契約** ページで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。
- インストール先フォルダ** ページには、デフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。
- プログラムインストールの準備完了** ページで、**インストール** をクリックします。

コンソール拡張機能をインストールすると、次のフォルダが作成されます。

- ・ Log: コンソール関連ログ情報が入ったフォルダです。

6. インストールが完了しました で、**終了** をクリックします。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストール

- ・ SCVMM 管理サーバおよび SCVMM コンソールに OMIMSSC コンソール拡張機能をインストールします。OMIMSSC コンソールのインストールが完了したら、SCVMM にコンソール拡張機能をインポートしてください。

1. OMIMSSC_SCVMM_Console_Extension.exe をダブルクリックします。
よろこ画面が表示されます。

2. **次へ** をクリックします。

3. **ライセンス契約** ページで、**ライセンス契約の条件に同意します** を選択してから、**次へ** をクリックします。

4. **インストール先フォルダ** ページには、デフォルトのインストールフォルダが選択されています。場所を変更するには、**変更** をクリックし、新しい場所をスキャンして、**次へ** をクリックします。

5. **プログラムインストールの準備完了** ページで、**インストール** をクリックします。

コンソール拡張機能をインストールすると、次のフォルダが作成されます。

- ・ Log: コンソール関連ログ情報が入ったフォルダです。

- ・ OMIMSSC_UPDATE: Cluster Aware Update (CAU) に必要なすべてのアクティビティが入ったフォルダです。このフォルダには、CAU 操作専用の読み取り/書き込み権限があります。このフォルダには、Windows Management Instrumentation (WMI) 権限が設定されています。詳細については、Windows のマニュアルを参照してください。

6. **InstallShield ウィザードを完了しました** ページで、**終了** をクリックします。

7. SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を SCVMM コンソールにインポートします。

OMIMSSC での Microsoft コンソールの登録

- ・ SCCM ユーザーの場合は、SCCM コンソール用の OMIMSSC コンソール拡張機能がインストールされていること。
- ・ SCVMM ユーザーの場合は、SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能がインストールされていること。

次の情報が利用できるように準備しておいてください。

- ・ Microsoft がセットアップされているシステムのユーザー資格情報。「**必要なアカウント特権**」を参照してください。
- ・ SCCM の FQDN または SCVMM の FQDN。

SCCM または SCVMM コンソールを OMIMSSC に登録するは、次の手順を実行します。

1. ブラウザを開き、OMIMSSC アプライアンスの URL を入力します。
OMIMSSC 管理ポータルページが表示されます。

2. **設定**、**コンソール登録**、**登録** の順にクリックします。
コンソール登録 ページが表示されます。

3. コンソールの名前と説明を入力します。

4. SCCM サイトサーバまたは SCVMM サーバの FQDN と資格情報を入力します。

5. (オプション) **新規作成** をクリックして、SCCM または SCVMM コンソールにアクセスするための Windows タイプの資格情報プロファイルを作成します。

- ・ [**Windows 資格情報プロファイル**] として [**資格情報プロファイルタイプ**] を選択します。
- ・ プロファイル名および説明を指定します。
- ・ **資格情報** で、ユーザー名とパスワードを指定します。
- ・ ドメインの詳細を [**ドメイン**] に入力します。

① メモ: コンソール登録のための資格情報プロファイルの作成時に、ドメイン名とトップレベルドメイン (TLD) の詳細情報を指定します。

たとえば、ドメイン名が mydomain で TLD が com の場合は、資格情報プロファイルのドメイン名に mydomain.com と指定します。

6. OMIMSSC アプライアンスと Microsoft コンソールの間の接続を確認するには、**テスト接続** をクリックします。

7. テスト接続の完了後、コンソールを登録するには、**登録** をクリックします。

① **メモ:** 登録が完了すると、OMIMSSC は OMIMSSC SCVMM コンソール拡張機能登録プロファイル という名前で、SCVMM にアカウントを作成します。このプロファイルを削除しないようにしてください。削除すると、OMIMSSC で一切の操作が実行できなくなります。

① **メモ:** SCCM 管理コンソールで、OMIMSSC コンソール拡張機能を使用するように SCCM サイトサーバを登録します。

登録済み Microsoft コンソールからの OMIMSSC の起動

登録済み SCCM または SCVMM コンソールから OMIMSSC を起動します。

ブラウザーでの OMIMSSC FQDN アドレスの追加

OMIMSSC を起動する前に、次の手順を実行して、前提条件として OMIMSSC の FQDN アドレスを [ローカルイントラネット] サイトリストに追加します。

1. **IE の設定** をクリックし、**インターネットオプション** をクリックします。
2. **詳細設定** をクリックして、**設定** で **セキュリティ** セクションを探します。
3. **暗号化されたページをディスクに保存しない** オプションをクリアして、**OK** をクリックします。

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動

「アカウント権限」に記述されているユーザー権限テーブルが表示されます。

SCCM コンソールで、**情報**および**コンプライアンス**、**概要**、**SCCM 用 OMIMSSC コンソールの拡張機能**の順にクリックします。

① **メモ:** SCCM コンソールへの接続にリモートデスクトッププロトコル (RDP) を使用している場合は、RDP が閉じると OMIMSSC セッションがログアウトされます。そのため、RDP セッションを再度開いて、再度ログインしてください。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を起動するには、次の手順を実行します。

1. SCVMM にコンソール拡張機能をインポートします。詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインポート](#)」を参照してください。
2. SCVMM でコンソール拡張機能を起動します。詳細については、「[SCVMM からの OMIMSSC コンソール拡張機能の起動](#)」を参照してください。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインポート

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をインポートするには、次の手順を実行します。

1. 管理者権限または委任管理者権限を使用して、SCVMM コンソールを起動します。
2. **設定**、**コンソールアドインのインポート**の順にクリックします。コンソールアドインのインポートウィザードが表示されます。
3. **ブラウズ** をクリックし、C:\Program Files\OMIMSSC\VMM Console Extension で .zip ファイルを選択して、次へ、完了の順にクリックします。アドインが有効なことを確認します。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の起動

1. SCVMM コンソールで **ファブリック** を選択してから、**すべてのホスト サーバグループ**を選択します。

① **メモ:** OMIMSSC の起動には、アクセス可能な任意のホストグループを選択できます。

2. ホーム リボンで、**DELL EMC OMIMSSC** をリボンから選択します。

OMIMSSC のライセンス

OMIMSSC には、次の 2 種類のライセンスがあります。

- ・ 評価版ライセンス：インストールすると自動的にインポートされる、サーバ（ホストまたは未割り当て）5 台分の評価版ライセンスからなる評価版のライセンスです。第 11 世代以降の Dell EMC サーバにのみ適用されます。
- ・ 本番ライセンス：OMIMSSC で管理するサーバ数に応じて、Dell EMC から本番ライセンスを購入できます。このライセンスには、製品サポートと OMIMSSC アプライアンスのアップデートも含まれています。

ライセンスを購入すると、.XML ファイル（ライセンスキー）を、Dell Digital Locker からダウンロードできるようになります。ライセンスキーをダウンロードできない場合は、dell.com/support/softwarecontacts に掲載されている、地域および製品ごとのデルサポートの電話番号までお問い合わせください。

ライセンスファイルが 1 つあれば、OMIMSSC でサーバの検出を行うことができます。OMIMSSC でサーバが検出されると、ライセンスが使用されます。サーバが削除されると、ライセンスは解放されます。次のアクティビティは、OMIMSSC のアクティビティログに記録されます。

- ・ ライセンスファイルがインポートされた。
- ・ OMIMSSC からサーバが削除され、ライセンスが譲渡された。
- ・ サーバが検出され、ライセンスが使用された。

評価版ライセンスから本番ライセンスにアップグレードすると、評価版ライセンスは本番ライセンスで上書きされます。ライセンスノード数は、購入した本番ライセンス数と同一です。

トピック：

- ・ [ライセンスのアップロード後のオプション](#)
- ・ [強制](#)
- ・ [OMIMSSC へのライセンスのインポート](#)
- ・ [ライセンスの詳細情報の表示](#)

ライセンスのアップロード後のオプション

以下は、OMIMSSC のライセンス機能にサポートされるオプションです。

新しく購入した製品のライセンスファイル

新規ライセンスを注文すると、注文確認の電子メールがデルから届き、Dell Digital ストアから新しいライセンスファイルをダウンロードできます。ライセンスは.xml 形式です。ライセンスが.zip 形式の場合、ライセンスの XML ファイルを抽出してからアップロードします。

ライセンスのスタッキング

本番ライセンスを複数スタックしておき、アップロードしたライセンスの合計サーバ数までサポート対象サーバ数を増やすことができます。評価ライセンスはスタックできません。スタックでサポート対象サーバ数を増やすことはできません。複数の OMIMSSC アプライアンスを使用する必要があります。

すでに複数のライセンスがアップロードされている場合、サポート対象ホスト数は最後にライセンスをアップロードした時点のライセンスの合計サーバ数です。

ライセンスの交換

注文に問題がある場合、あるいは変更または破損したファイルをアップロードしようとする、同じエラーメッセージが表示されます。Dell Digital Locker から別のライセンスファイルをリクエストできます。受け取った交換用ライセンスには、以前のライセンスと同じ使用資格 ID が入っています。交換用のライセンスをアップロードする際、同じ資格 ID のライセンスがすでにアップロードされていると、そのライセンスは置き換えられます。

ライセンスの再インポート

同じライセンスファイルをインポートしようとする、エラーメッセージが表示されます。新しいライセンスを購入して、インポートしてください。

複数ライセンスのインポート

異なる登録IDが入ったライセンスファイルを複数インポートして、OMIMSSCで検出およびメンテナンスするサーバ数を増やすことができます。

強制

ライセンスのアップグレード

サポートされているすべてのサーバ世代向けの既存のライセンスファイルが、OMIMSSCに使用できます。ライセンスファイルが最新のサーバ世代をサポートしていない場合は、新しいライセンスを購入してください。

評価用ライセンス

評価ライセンスの有効期限が切れると、いくつかの主要な領域の動作が停止し、エラーメッセージが表示されます。

サーバ検出後の OMIMSSC でのライセンス使用

ホストの追加またはベアメタルサーバの検出を試みると、使用状況について警告されます。次のような状況では、新規ライセンスを購入することが推奨されています。

- ・ ライセンスされたサーバの数が、購入したライセンスの数を超えている場合
- ・ 検出したサーバの数が、購入したライセンスの数と同じ場合
- ・ 購入したライセンスの数を超えるので、猶予ライセンスが与える場合
- ・ 購入したライセンスの数を超えていて、そのすべてが猶予ライセンスの場合

メモ: 猶予ライセンスの数は、購入したライセンス合計の 20 パーセントです。したがって、OMIMSSC で実際に使用できるライセンスの数は、購入したライセンス数と猶予ライセンス数を足し合わせた数となります。

OMIMSSC へのライセンスのインポート

ライセンスを購入したら、次の手順に従い OMIMSSC にインポートします。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、**ライセンスセンター**をクリックします。
2. **ライセンスのインポート**をクリックして、Dell Digital Store からダウンロードしたライセンスファイルを参照して選択します。

メモ: インポートできるのは、有効なライセンスファイルだけです。ファイルが破損または改ざんされている場合は、それに応じてエラーメッセージが表示されます。Dell Digital Store からファイルを再度ダウンロードするか、デルの担当者に連絡して有効なライセンスファイルを手入してください。

ライセンスの詳細情報の表示

1. ブラウザーを開き、OMIMSSC アブライアンスの URL を入力します。
OMIMSSC 管理ポータルのログイン ページが表示されます。
2. [**ライセンスセンター**] をクリックします。

ページに次の情報が表示されます。

[**ライセンス概要**]: OMIMSSC のライセンスの詳細情報が表示されます。

- ・ [**ライセンスされたノード**]: 購入したライセンスの総数
- ・ [**使用中ノード**]: 検出され、ライセンスを使用しているサーバーの数

・ [**使用可能ノード**]: OMIMSSC で検出できる残りのライセンスされたノード

[**ライセンスの管理**]: インポートされた各ライセンス ファイルを、その詳細情報 (資格 ID、製品の説明、ライセンス ファイルをインポートした日付、ライセンス ファイルの有効期間の開始日、ライセンスによってサポートされるすべての世代のサーバーのリストなど) とともに表示します。

OMIMSSC とそのコンポーネントの管理

OMIMSSC アプライアンスの詳細情報の表示

1. ブラウザから OMIMSSC 管理ポータルを起動します。
2. OMIMSSC アプライアンス VM へのログイン時に使用した資格情報と同じ資格情報を使用して OMIMSSC 管理ポータルにログインし、**アプライアンスの詳細情報** をクリックします。OMIMSSC アプライアンスの IP アドレスとホスト名が表示されます。

OMIMSSC ユーザー管理の表示

1. ブラウザから OMIMSSC 管理ポータルを起動します。
2. OMIMSSC アプライアンス VM へのログイン時に使用した資格情報と同じ資格情報を使用して OMIMSSC 管理ポータルにログインし、**OMIMSSC ユーザー管理** をクリックします。前回 SCCM または SCVMM にログインしたユーザーのステータスが表示されます。

登録済みコンソールの表示または更新

次の手順を実行すると、OMIMSSC に登録されているすべての Microsoft コンソールが表示されます。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、**設定、コンソール登録** の順にクリックします。
登録されているすべてのコンソールが表示されます。
2. 登録されているコンソールの最新のリストを表示するには、**更新** をクリックします。

OMIMSSC アプライアンスのパスワードの変更

OMIMSSC アプライアンス VM のパスワードを変更するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC アプライアンス VM を起動し、古い認定資格情報を使用してログインします。
2. **管理者パスワードの変更** に移動して、**Enter** キーを押します。
パスワードを変更する画面が表示されます。
3. 現在のパスワードを入力し、リストされている条件を満たす新しいパスワードを入力します。新しいパスワードを再度入力し、**Enter** キーを押します。
パスワード変更後のステータスが表示されます。
4. ホームページに戻るには、**Enter** キーを押します。

インストールツールの修復または変更

インストールツールファイルのいずれかを修復するには、次の説明を参照してください。

- ・ [SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の修復](#)
- ・ [SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の修復](#)

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の修復

OMIMSSC ファイルが破損した場合にファイルを修復するには、次の手順を実行します。

1. SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のインストーラーを実行します。
[ようこそ] 画面が表示されます。
2. [次へ] をクリックします。
3. [プログラム メンテナンス] で、[修復] を選択して [次へ] をクリックします。
[プログラム修正の準備完了] 画面が表示されます。

4. [インストール] をクリックします。
進行状況画面にインストールの進行状況が表示されます。インストールが完了すると、[InstallShield ウィザード完了] ウィンドウが表示されます。
5. [終了] をクリックします。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張の修復

OMIMSSC ファイルが破損した場合に、ファイルを修復するには次の手順を実行します。

1. **SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張** インストーラを実行します。
2. **Program Maintenance** (プログラムメンテナンス) で、**Repair** (修復) を選択して **Next** (次へ) をクリックします。
3. **Ready to Repair or Remove the program** (プログラムの修復または削除の準備完了) で、**Repair** (修復) をクリックします。
4. 修復タスクが完了したら、**Finish** (終了) をクリックします。

OMIMSSC 管理ポータルでの SCCM および SCVMM アカウントの変更

このオプションを使用すると、OMIMSSC コンソールで SCCM と SCVMM アカウントのパスワードを変更できます。

OMIMSSC 管理ポータルから、SCCM および SCVMM 管理者パスワードを変更することができます。このプロセスは連続したアクティビティです。

1. Active Directory の SCCM または SCVMM 管理者アカウントのパスワードを変更します。
2. OMIMSSC でパスワードを変更します。

OMIMSSC で SCCM または SCVMM 管理者アカウントを変更するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、**設定、コンソールの登録** の順にクリックします。
登録済みコンソールが表示されます。
2. 編集するコンソールを選択し、**編集** をクリックします。
3. 新しいパスワードを入力し、**終了** をクリックして変更を保存します。

パスワードの更新後、新しい資格情報を使用して Microsoft コンソールと OMIMSSC コンソール拡張機能を再起動してください。

OMIMSSC アプライアンスのバックアップ

OMIMSSC アプライアンスの **アプライアンスデータのバックアップ** オプションを使用して、登録 Microsoft コンソール、検出デバイス、プロファイル、アップデートソース、運用テンプレート、ライセンス、完了ジョブなどの OMIMSSC 情報を OMIMSSC コンソール拡張機能に保存します。

OMIMSSC アプライアンスのバックアップ作成

- ・ OMIMSSC で実行中のジョブがないことを確認します。

OMIMSSC アプライアンスのバックアップを作成するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC アプライアンス VM を起動します。
2. **管理** パスワードを入力して、**Enter** キーを押します。
OMIMSSC アプライアンスが表示されます。
3. **アプライアンスデータをバックアップ** に移動して、**Enter** キーを押します。

OMIMSSC アプライアンスの復元

アプライアンスの復元を行う前に、OMIMSSC バージョン 7.2 のコンソール拡張機能をインストールしてください。「**OMIMSSC コンポーネントをダウンロードするための OMIMSSC 管理ポータルの起動**」セクションを参照してください。

次のどちらの場合にも、OMIMSSC アプライアンスのデータを復元できます。

- ・ 新バージョンにアップグレードする前の OMIMSSC
- ・ 別の OMIMSSC アプライアンスに移行する前の OMIMSSC アプライアンス

OMIMSSC アプライアンスの復元

新しい OMIMSSC アプライアンスで操作を実行する前に、忘れずにデータを復元してください。

古い OMIMSSC アプライアンスのデータを新しい OMIMSSC アプライアンスに復元するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、**設定**、**アプライアンスの復元** の順にクリックします。
復元 ページが表示されます。
2. **IP アドレス** に古い OMIMSSC アプライアンスの IP アドレスを指定して、**復元** をクリックします。
新しい OMIMSSC アプライアンスに情報が復元されます。
OMIMSSC アプライアンスの再起動後に復元のステータスを表示するには、次の手順を実行します。
 - a. OMIMSSC 管理ポータルにログインします。
📌 メモ: すべてのサービスが開始されるように、ログインする前に数分間待ってからログインすることを推奨します。
 - b. **設定** を展開して、**ログ** をクリックします。
 - c. `dldciappliance_main.log` ファイルをダウンロードし、次のメッセージを検索して復元に成功したかどうかを確認します。

```
Successfully restored OMIMSSC Appliance
```

古い OMIMSSC アプライアンスの復元が終了したら、次の手順を実行します。

- ・ 古い OMIMSSC アプライアンスの復元後、スケジュールジョブを作成し直すことをお勧めします。
- ・ 以前のバージョンの OMIMSSC からエクスポートしたハイパーバイザプロファイルの場合は、プロファイルを編集してから、ISO ファイルパスと Windows 資格情報プロファイルを指定するようにしてください。

OMIMSSC のアップグレード

OMIMSSC のインストールおよび設定後、利用できるサービスパックのアップデートがある場合は、OMIMSSC の Service Pack Update 機能を使用して最新のアップデートをインストールできます。

📌 メモ: 旧バージョンの OMIMSSC から OMIMSSC v7.2 へのサービス パック アップグレードは利用できません。

OMIMSSC の旧バージョンからアップグレードするには、現在のバージョンのデータをバックアップし、OMIMSSC バージョン 7.2 アプライアンスで復元します。

OMIMSSC アプライアンスのバックアップと復元の詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ](#)」セクションおよび「[OMIMSSC アプライアンスの復元](#)」セクションを参照してください。

Service Pack のアップデートについて

OMIMSSC のリリース以後、既存の OMIMSSC アプライアンスに対するアップグレードまたは拡張機能として使用可能な、重要な欠陥の修正または機能の追加を共有する必要があります。Service Pack と OMIMSSC アプライアンスオペレーティングシステムおよび OMIMSSC に対するその他のアップデートのアップデートを行うことができます。

- ・ Service Pack ファイルは、任意の HTTP サーバーに配置して、Service Pack のファイルを使用してアップデートを行なうことができます。
- ・ これらの Service Pack を段階的に適用することができます。ただし、一度適用した後に元に戻すことはできません。
- ・ この Service Pack は累積的です。つまり、最新の Service Pack では以前のすべてのリリースからの修正が含まれています。

OMIMSSC による Service Pack には、次の 2 つのタイプがあります。

- ・ OMIMSSC アプライアンス Service Pack
- ・ インフラストラクチャ Service Pack

サービス パック アップデートは、次の 2 つの方法で適用できます。

- ・ オフライン パッケージを使用。
- ・ **linux.dell.com** を使用。

オフライン パッケージを使用して Service Pack アップデートを適用するには、次の手順を実行します。

1. ウェブから Service Pack をダウンロードします。詳細については、「[」](#)を参照してください。[ウェブからの OMIMSSC のダウンロード](#)


2. Service Pack アップデートの前提条件のリストを確認します。詳細については、「[サービスパックのアップグレード手順](#)」を参照してください。
3. ダウンロードした Service Pack アップデートをリポジトリにコピーします。詳細については、「[Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー](#)」を参照してください。
4. OMIMSSC 管理ポータルで、リポジトリの URL 情報を入力します。詳細については、「[リポジトリの URL 情報の入力](#)」を参照してください。
5. Service Pack アップデートをインストールします。詳細については、「[Service Pack アップデートのインストール](#)」を参照してください。

オンライン パッケージを使用してサービスパック アップデートを適用するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、リポジトリの URL 情報を入力します。詳細については、「[リポジトリの URL 情報の入力](#)」を参照してください。
2. Service Pack アップデートをインストールします。詳細については、「[Service Pack アップデートのインストール](#)」を参照してください。

インストールの必要条件

- ・ SCCM および SCVMM 向け OMIMSSC バージョン 7.2 にアップグレードする前に、SCCM および SCVMM 向け OMIMSSC バージョン 7.1 またはバージョン 7.1.1 が導入されていることを確認します。
- ・ 実行中のジョブがないことを確認します。実行中の場合は、そのジョブが完了するまで待ちます。
- ・ OMIMSSC アプライアンス データのバックアップを作成します。

 **メモ:** バックアップ手順の詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ](#)」セクションを参照してください。

Service Pack のアップグレード手順

OMIMSSC を旧バージョンからアップグレードするには、現在のバージョンのデータをバックアップしてから、Service Pack を使用してアップデートします。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、[**設定**] > [**Service Pack アップデート**] をクリックします。
2. [**リポジトリ URL**] ボックスに、次のアップデート方法のどちらを使用するかに応じて、Service Pack リポジトリの場所の URL を入力します。
 - a. オフライン パッケージを使用してアップデートするには、[**リポジトリ URL**] ボックスに、サービスパックが保存されている場所の URL 情報を「`http://<ホスト名または IP アドレス>/OMIMSSC_v7.2_SP/RPM_Repository`」の形式で入力します。
 - b. linux.dell.com を使用してアップデートするには、[**リポジトリ URL**] ボックスに、URL 情報を「`http://linux.dell.com/repo/omimssc-sccm-scvmm/<サービスパックバージョン>`」の形式で入力し、必要に応じてプロキシ サーバーの詳細情報とプロキシ サーバーにアクセスするための認証情報を入力して、[**保存**] をクリックします。
3. [**アップデートを自動的にチェック**] チェック ボックスを選択します現在のバージョンの OMIMSSC および Service Pack が表示されます。
4. [**適用**]、[**OK**] の順にクリックします。
5. upgradelogs ディレクトリで、[**設定**] > [**ログ**] の順に移動します。サービスパック アップグレードのログ ファイルを表示またはダウンロードするには、<サービスパックバージョン番号>ディレクトリ（たとえば、<フォルダー名>ディレクトリ）を選択して、サービスパック アップグレードのログ ファイルを表示またはダウンロードします。
6. 管理ポータルにログインして、ブラウザ キャッシュの履歴を削除します。
7. Service Pack のアップデートが完了したら、アプライアンスを手動で再起動します。

Service Pack アップデート リポジトリ作成の詳細については、「[Service Pack のアップデートについて](#)」セクションを参照してください。

Service Pack アップデートのリポジトリへのコピー

- ・ ダウンロードした Service Pack をリポジトリに保存します。
 - ・ サーバパックのすべてのファイル形式が HTTP サーバでサポートされていることを確認してください。サポートされていない場合は、HTTP 管理者に問い合わせるサポートを追加してください。次のファイル形式がサポートされています。
 - ・ .RPM
 - ・ .XML
 - ・ .TXT
 - ・ .BZ2
- .BZ2 ファイル形式を有効にするには、次の手順を実行します。

1. repo ファイルが保存されているサーバーで、IIS マネージャを開きます。

2. ホスト名を展開します。サイト、デフォルト Web サイトの順にクリックします。
3. アクション ペインで、追加をクリックします。
[MIME タイプを追加] ウィンドウが表示されます。
4. ファイル名の拡張子に .BZ2 を、MIME タイプに APP/BZ2 を設定して、OK をクリックします。

リポジトリの準備

1. サービスパックファイルを直接 HTTP サーバーに配置します。
2. ダウンロードした Service Pack をダブルクリックして、指定した場所にファイルを解凍します。
3. HTTP サイトに解凍したファイルをコピーします。

Service Pack アップデートのためのリポジトリ URL 情報の入力

OMIMSSC をアップデートするには、Service Pack アップデートがある URL 情報を入力します。

Service Pack アップデートを使用して OMIMSSC を更新するには、次の手順を実行します。

1. **OMIMSSC** で、設定 **Service Pack アップデート** を選択します。
2. オフライン パッケージを使用してアップデートするには、[リポジトリ URL] に、「http://<サーバー名>:<ポート名>/<リポジトリパス>」形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシサーバーの詳細情報とサーバーにアクセスするための認証情報を入力して、[保存] をクリックします。

メモ: URL 内に入力するホスト名にはアンダースコア (_) が含まれないように注意してください。

linux.dell.com を使用してアップデートするには、[リポジトリ URL] に、「http://linux.dell.com/repo/omimssc-sccm-scvmm/<Service Pack バージョン>」形式で URL 情報を入力し、必要に応じてプロキシサーバーの詳細情報とサーバーにアクセスするための認証情報を入力して、[保存] をクリックします。

Service Pack アップデートのインストール

リポジトリの URL 情報が使用可能であり、Service Pack アップデート ページに含まれていることを確認します。詳細に関しては、「リポジトリ URL 情報の入力」を参照してください。

Service Pack アップデートをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Service Pack が HTTP サイトに置かれたら、**OMIMSSC 管理ポータル > 設定 > Service Pack アップデート**の順に移動して、[アップデートのチェック] をクリックします。

OMIMSSC の場合は、既存のバージョンとリポジトリで使用可能な Service Pack バージョンが表示されます。

必要に応じて、リリースノートを表示することができます。

2. **適用**、**OK** の順にクリックします。
3. アップグレードアクティビティが完了したら、OMIMSSC 管理ポータルにログインし、次にブラウザのキャッシュ履歴をクリアします。

インストール後の手順：

Service Pack のアップデートを確認するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC 管理ポータルの **バージョン情報** に、Service Pack アップデートのバージョンの詳細が表示されます。
2. 詳細については、OMIMSSC 管理ポータルで **設定 > ログ** を選択します。
3. **upgradelogs** ディレクトリで Service Pack アップグレードのログファイルを表示またはダウンロードするには、<Service Pack バージョン番号> ディレクトリ (たとえば 1.2.0.207 ディレクトリ) を選択して表示するか、Service Pack アップグレードのログファイルをダウンロードします。
4. Service Pack アップデートに失敗した場合は、**dell.com/support** にお問い合わせください。
5. アプライアンスを手動で再起動します。

メモ: Service Pack のアップデートが完了したら、次の操作を行います。

- SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード
- SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード

古い OMIMSSC アプライアンスをバックアップしてあることを確認してください。詳細については、「OMIMSSC アプライアンスのバックアップ」を参照してください。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、インストールツールのダウンロードをクリックして、インストールツールを任意の場所に保存します。
2. OMIMSSC インストールツールを実行します。
3. アップグレードを求めるメッセージで、はい をクリックします。
4. OMIMSSC の ようこそ ページで、次へ をクリックします。
5. ライセンス契約 ページで、ライセンス契約の条件に同意します を選択し、次へ をクリックします。
6. プログラムインストールの準備完了 ページで、インストール をクリックします。
7. InstallShield ウィザードの完了 ページで、終了 をクリックし、インストールを完了します。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアップグレード

古い OMIMSSC アプライアンスをバックアップしてあることを確認してください。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンスのバックアップ](#)」を参照してください。

1. OMIMSSC 管理ポータルで、インストールツールのダウンロードをクリックして、インストールツールを任意の場所に保存します。
2. OMIMSSC インストールツールを実行します。
3. アップグレードを求めるメッセージで、はい をクリックします。
4. OMIMSSC の ようこそ ページで、次へ をクリックします。
5. ライセンス契約 ページで、ライセンス契約の条件に同意します を選択し、次へ をクリックします。
6. プログラムインストールの準備完了 ページで、インストール をクリックします。
7. InstallShield ウィザードの完了 ページで、終了 をクリックし、インストールを完了します。
8. SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能を削除して、再度インポートします。コンソールの削除の詳細については、「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の削除](#)」を参照してください。

OMIMSSC アプライアンスの再起動

OMIMSSC アプライアンスを再起動するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC アプライアンス VM を起動して、ログインします。
2. この仮想アプライアンスを再起動 に移動して、**Enter** キーを押します。
3. 確定するには、はい をクリックします。
OMIMSSC アプライアンスと必要なすべてのサービスが再起動されます。
4. VM の再起動後、OMIMSSC アプライアンスにログインします。

OMIMSSC アプライアンスからのログアウト

1. OMIMSSC アプライアンス VM を起動して、ログインします。
2. ログアウトに移動して、**Enter** キーを押します。

OMIMSSC のアンインストール

OMIMSSC をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC 管理ポータルから、OMIMSSC コンソールの登録を解除します。詳細については、「[OMIMSSC コンソールの登録解除](#)」を参照してください。
2. 登録されている Microsoft コンソールの OMIMSSC コンソール拡張機能をアンインストールします。詳細については、「[SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール](#)」または「[SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール](#)」を参照してください。
3. OMIMSSC アプライアンス VM を削除します。詳細については、「[OMIMSSC アプライアンス VM の削除](#)」を参照してください。
4. アプライアンス固有のアカウントを削除します。詳細については、「[その他のインストールタスク](#)」を参照してください。

OMIMSSC からの Microsoft コンソールの登録解除

1台の OMIMSSC アプライアンスに Microsoft コンソールを複数登録している場合は、コンソール登録を1つ解除しても OMIMSSC での操作を継続できます。完全なアンインストールについては、『OpenManage Integration for Microsoft System Center Installation Guide』(Microsoft System Center 用 OpenManage Integration インストールガイド) を参照してください。

Microsoft コンソールの登録を解除するには、次の手順を実行します。

1. OMIMSSC で **コンソール登録** をクリックします。
OMIMSSC アプライアンスに登録されているすべてのコンソールが表示されます。
2. コンソールを選択し、[**登録解除**] をクリックして、アプライアンスへのコンソールの登録を削除します。
3. コンソール プラグインをアンインストールします。

メモ:

- コンソールを登録解除してアンインストールすると、コンソールに関連付けられていたホスト サーバーは **OMIMSSC の未割り当てサーバー** リストに移動します。
4. (オプション) コンソールにアクセスできない場合、コンソールを強制的に登録解除するプロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
 - 登録解除時に OMIMSSC コンソールがすでに開いている場合は、Microsoft コンソールを閉じてから登録を解除するようにしてください。
 - SCVMM ユーザーの場合：
 - SCVMM サーバにアクセスできない場合に、SCVMM コンソールを OMIMSSC から強制的に登録解除するには、SCVMM で **アプリケーションプロファイル** を手動で削除してください。

SCCM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール

OMIMSSC_SCCM_Console_Extension.exe をダブルクリックし、[**削除**] を選択して画面の指示に従います。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能のアンインストール

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能をアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. **プログラムのアンインストール** からコンソール拡張機能を削除します。
2. SCVMM コンソールからコンソール拡張機能を削除します。

SCVMM 用 OMIMSSC コンソール拡張機能の削除

1. コントロールパネルで **プログラム** をクリックし、**プログラムのアンインストール** をクリックします。
2. **SCVMM 用コンソールアドイン** を選択し、**アンインストール** をクリックします。

SCVMM での OMIMSSC コンソール拡張機能の削除

1. SCVMM コンソールで **設定** をクリックします。
2. **OMIMSSC** を右クリックして、**削除** を選択します。

その他のアンインストール手順

OMIMSSC コンソール拡張機能を SCVMM から削除するには、次のアカウントとプロファイルを削除します。

- アプライアンス固有の RunAsAccounts
- OMIMSSC アプリケーション プロファイル

アプライアンス固有の RunAsAccounts の削除

アプライアンス固有の RunAsAccounts を SCVMM コンソールから削除するには、次の手順を実行します。

1. SCVMM コンソールで [**設定**] をクリックします。

2. **RunAsAccounts** をクリックします。
3. アカウントのリストから、アプライアンス固有のアカウントを削除します。
アプライアンス固有のアカウントには、先頭に「Dell_」が付加されています。

OMIMSSC アプリケーション プロファイルの削除

1. SCVMM コンソールで、[ライブラリー] [プロファイル] の順にクリックして、[アプリケーション プロファイル] をクリックします。
SCVMM で使用されているすべてのアプリケーション プロファイルが表示されます。
2. **OMIMSSC Registration Profile** を選択して、削除します。

アプライアンス VM の削除

アプライアンス VM を削除するには、次の手順を実行します。

1. **Windows Server** の **Hyper-V** マネージャー でアプライアンス VM を右クリックし、**オフにする** をクリックします。
2. アプライアンス VM を右クリックし、**削除** をクリックします。

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

次のリンクを使用して、必要なドキュメントにアクセスします。

- ・ Dell EMC エンタープライズシステム管理のマニュアル — www.dell.com/SoftwareSecurityManuals
- ・ Dell EMC OpenManage マニュアル — www.dell.com/OpenManageManuals
- ・ Dell EMC リモートエンタープライズシステム管理のマニュアル — www.dell.com/esmmanuals
- ・ iDRAC マニュアル — www.dell.com/idracmanuals
- ・ Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理のマニュアル — www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- ・ Dell EMC Serviceability Tools マニュアル — www.dell.com/ServiceabilityTools
- ・ 1. www.support.dell.com にアクセスします。
- ・ 2. すべての製品を参照 をクリックします。
- ・ 3. すべての製品 ページでソフトウェア をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - ・ 統計
 - ・ クライアントシステム管理
 - ・ エンタープライズアプリケーション
 - ・ エンタープライズシステム管理
 - ・ 公共機関向けソリューション
 - ・ ユーティリティ
 - ・ メインフレーム
 - ・ 保守ツール
 - ・ 仮想化ソリューション
 - ・ オペレーティングシステム
 - ・ サポート
- ・ 4. マニュアルを表示するには、該当する製品をクリックして、該当するバージョンをクリックします。
- ・ 検索エンジンを使用します。
 - ・ 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

トピック：

- ・ [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. Dell.com/support にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある **国/地域の選択** ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。